

「子どものSOSを、つかまえる」 —子どもたちの最善の利益を求めて—

主催：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

(一般社団法人日本カウンセリング学会・一般社団法人日本学校教育相談学会・日本学校心理士会・日本キャリア教育学会
・NPO 法人日本教育カウンセラー協会・日本教育カウンセリング学会・一般社団法人日本臨床発達心理士会)

後援：文部科学省（依頼予定）・一般社団法人日本図書文化協会・一般財団法人応用教育研究所

子どものSOSをつかむことは、「生徒指導提要（改訂版）」の課題の未然防止や課題の早期発見対応、重大事態の発生防止等のすべての出発点になる。

しかし、SOSを出すことを否定的に捉えたり消極的になったりする子どもの実態や子どもたちがSOSを出したくても出しにくい学校や学級の風土の問題などがある。

また、子どもがSOSを出しているにもかかわらず、それに気づかなかったり過小評価したりして子どものSOSを受け止め切れない教師や学校側の問題も指摘されている。

こうした「子どものSOS」をめぐる困難な実態を踏まえつつ、本シンポジウムでは子どもたちの最善の利益を求めて、「子どものSOS」の課題や望ましい方向性について話し合いたい。

日時：2026年6月27日（土） 13:00～16:00

参加費：2,500円 ※学生（大学院生含む）はライブ配信視聴による参加の場合のみ無料

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 講義室（丸ノ内線茗荷谷駅徒歩3分）

参加方法：（会場参加）直接、会場に来場いただきます。

（ライブ配信視聴による参加）YouTube Live 配信を視聴，質問はチャットで受け付けます。

定員：（会場参加）150名（ライブ配信視聴による参加）300名程度

研修証明：ガイダンスカウンセラー（スーパーバイザーを含む）資格更新のⅠについて1ポイント

学校心理士更新資格ポイントA（1ポイント）（申請中）

臨床発達心理士資格更新ポイント（3）区分0.5ポイント（申請中）

●プログラム

全体司会 川崎知己氏（一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会研修委員）

(12:45-13:00「第5回國分康孝スクールカウンセリング賞」表彰式)

13:00-16:00「第16回公開シンポジウム」

1. 講演 「子どものSOSを、つかまえる—スクールカウンセリングへの期待（仮）」15分

柴山昌彦氏（衆議院議員，元文部科学大臣） 依頼予定

2. 講演 「児童生徒の個々の状況に合わせた教育相談体制づくり（仮）」30分

総崎由希氏（文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長） 依頼予定

3. シンポジウム 「子どものSOSを、つかまえる」—子どもたちの最善の利益を求めて— 約120分

（司会）藤田晃之氏（一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会副理事長）

（シンポジスト）

渡邊香子氏（一般社団法人SSW情報研修センター副代表理事，神奈川県SSWスーパーバイザー）

「ノーマークの子どものSOSを考える（仮）」

春日智稀氏（埼玉県羽生市立小学校教諭） 「子どもSOSをキャッチする学校の体制をつくる」

新井雅氏（跡見学園女子大教授） 「SOSの出し方・受け止め方教育を実践する」

●申込み：ホームページから <http://jsca.guide/training/>

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会 事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-15 アトラスタワー 3F メール：info@jsca.guide 電話：03-6912-2088